

佐賀県医療センター好生館

2021年度 佐賀大学麻酔科専攻医プログラム説明会

好生館の沿革

- 1781年 好生館の前身、藩校『弘道館』設立
- 1810年 第10代佐賀藩主 鍋島直正公によって『好生館』と命名
- 1886年 佐賀市水ヶ江の地にて『佐賀県立病院好生館』設立
- 2013年 佐賀市嘉瀬町に新築移転し、
『地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館』

好生館の概要

- 総ベッド数 450床（感染病棟 8床）
- 標榜診療科 33診療科
- 医師数 197名（研修医 38名）
- 麻酔科医 11名（専門医 8名、標榜医 10名、産休中 1名）
- 手術室 9室（Hybrid OR 1室、BCR 2室）
※現在増設工事中 9月から10室にて運用開始

好生館手術室実績（2020年度）

- 手術件数 5149例（緊急手術 834例）
- 麻酔科管理症例数 3743例
- 専門医プログラム必要経験症例数
 1. 6歳未満の小児：202例
 2. 帝王切開：72例
 3. 心臓血管手術：106例
 4. 胸部外科手術：131例
 5. 脳神経外科手術：91例

好生館手術室



現在増設工事中

2021年9月～
OR10運用開始

好生館麻酔科の特徴

- ▶ 症例の幅が広い
- ▶ 末梢神経ブロックの症例が多い
- ▶ 新生児を含む小児の手術が多い
- ▶ 多発外傷などの急患の手術が多い
- ▶ 手術麻酔における様々な分野を学ぶことができる

好生館麻酔科の特徴

▶症例の幅が広い

- 新生児から高齢者のあらゆる年代で幅広い術式の麻酔を経験できる
- 佐賀大学と同様に複数の診療科でロボット支援下手術が行われており、R3年度より呼吸器外科手術も開始され、今後は婦人科手術も予定

好生館麻酔科の特徴

▶ 末梢神経ブロックの症例が多い

- 外傷も多く、四肢の末梢神経ブロックを行う機会が多い
- 抗凝固薬の使用などにより硬膜外麻酔が困難な場合は積極的に末梢神経ブロックを施行
- R3年度 新たに3名のスタッフがJRACEに合格し、指導体制も充実

好生館麻酔科の特徴

▶ 新生児を含む小児の手術が多い

- 小児外科を標榜しており、新生児や小児の手術が多い
- R2年度より小児病棟と連携し、術前前投薬を廃止し、スタンプラリーなどの術前プレパレーションを積極的に行うようにしている

好生館麻酔科の特徴

▶ 多発外傷などの急患の手術が多い

- 四肢の骨折や骨盤骨折、脊椎破裂骨折などを含む多発外傷症例が多い
- 外傷による時間外の緊急症例も多い

好生館麻酔科の特徴

➤ 手術麻酔における様々な分野を学ぶことができる

- 手術麻酔におけるサブスペシャリティである心臓麻酔、区域麻酔、小児麻酔などの幅広い分野について満遍なく学ぶことができる
- 手術麻酔におけるサブスペシャリティ分野の指導体制も充実



好生館でお待ちしています